

# ながと 市議会だより

Nagato City Council

# 6

月定例会

No.69

2023 (令和5年) 8/1



## INDEX

- ▶ 6月定例会 ..... 2 ~ 4 ページ
- ▶ 一般質問 ..... 5 ~ 10 ページ
- ▶ 第1回臨時会 ..... 11 ページ

# 6月定例会

一般会計  
補正予算

## 注目の 3事業

### 市民生活、企業経営を支える

6月定例会を6月9日（金）から7月4日（火）までの26日間の会期で開きました。総額6億7,122万円の一般会計補正予算（第3号、第4号、第5号）をはじめとした32議案及び陳情1件の審査を行い、すべての議案を原案のとおり可決・同意・採択しました。

議会はこう見る

事業

#### その2 省エネ家電買い換え支援事業 4159万円

エネルギー価格の高騰を踏まえ、省エネ性能に優れた家電製品への買い換えに係る費用の一部を補助し、家庭でのエネルギー費用の負担軽減、並びに温室効果ガスの削減を図る事業です。対象家電はエアコン、冷蔵庫、テレビ、LED照明器具（統一省エネラベル2つ星以上）です。

**問** 補助金の対象期間と積算根拠について尋ねる。

**答** 対象期間は7月4日から10月31日までを予定している。積算根拠については、令和5年3月末時点の世帯数1万5562世帯の5%にあたる800件が申請することを想定し、上限が5万円であることから補助金の予算額を4000万円としている。

**問** 予算上限額に達した際の対応について尋ねる。

**答** 限られた財源の中で行っているため、予算計上している4000万円に達し次第、終了となる。

#### その3 省エネ機器等導入支援事業 2680万円

物価高騰の影響が広がる中、事業継続と経営改善を図るとともに、温室効果ガス削減への取り組みを推進するため、省エネ機器や低燃費タイヤの導入等に係る経費の一部を補助する事業です。

**問** 具体的な補助対象について尋ねる。

**答** トップランナー基準の統一省エネラベル2つ星以上を満たす機器とし、ラベル表示のないものはメーカー及び販売店の証明で対応することとしている。また、工事費用や撤去に係る処分費等も対象となる。

#### その1 住民税非課税世帯等に対する 価格高騰重点支援給付金 給付事業 1億7041万円

国において、食料品等の物価高騰に直面し影響を受ける低所得世帯への支援のため、新たに「低所得世帯支援枠」の創設が閣議決定されたことを受け、本市では令和5年度の住民税非課税世帯等に対する支援として、1世帯当たり3万円を給付する事業です。

**問** 給付金対象者の詳細について尋ねる。

**答** 本年6月1日時点で長門市に住民登録があり、本年度分の

住民税均等割が非課税である世帯と、予期せず本年1月以降に家計が急変した世帯や、配偶者その他親族からの暴力等を理由に避難している世帯などの非課税相当の世帯が対象となる。

**問** 支給方法や支給時期について尋ねる。

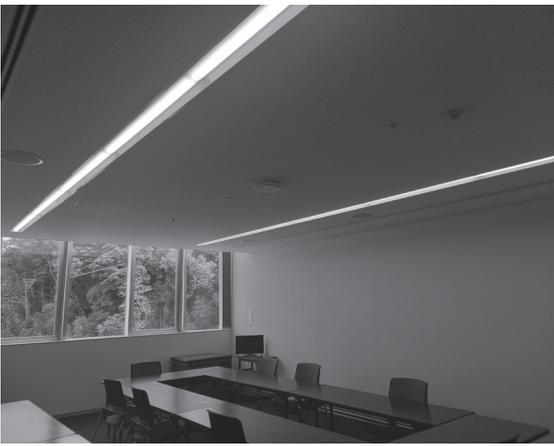
**答** 住民税非課税世帯への支給方法は、原則として申請不要のプッシュ式とし、家計急変世帯など市で把握ができない世帯については、申請をさせていただき、いずれも指定口座への振込により支給する。支給時期については、7月下旬から支給を開始し、11月末までに完了する予定である。

## 公共施設照明設備LED化事業 1752万円

第2次長門市総合計画に掲げる「地球環境対策の推進」の取り組みとして、公共施設の照明設備をLED化することにより、電力使用量を削減するとともに、二酸化炭素排出量の削減を図る事業です。まずは事業効果が高いと見込まれる施設について、リース契約によりLED化が実施されます。

**問** LED化事業の効果について尋ねる。

**答** 省エネルギー、CO2削減、ランニングコスト低減などのメリットがある。現在の電気料金単価で試算すると、年間約3000万円の電気料金の削減が可能と見込んでいる。



## 長門湯本温泉 観光まちづくり整備事業 1660万円

令和3年7月の落雷により不具合の生じた長門湯本温泉街の灯具について、委託した詳細調査の結果、修繕個数がこれまでの69個からさらに31個増えたため、追加工事をするるとともに、落雷による故障の再発防止を目的とした雷サージ対策工事のための設計等を委託する事業です。

**問** 工事のスケジュールについて尋ねる。

**答** 令和4年度に発注した第1期工事は、今年度の11月30日が終了予定である。第2期工事については、6月下旬に入札を行い、灯具納品後に施工を実施し、年度内に終了する予定である。

**問** 修繕工事に対して保険が適用されると思うが、1660万円のうちの負担額を尋ねる。

**答** 工事に係る1600万円のおよそ9割が保険の対象となるため市の負担額は1割となる。また、雷サージ対策の60万円は、保険の対象とならないため一般財源からの歳出となる。

**問** 長門湯本温泉の街並みの景観形成に資する施設の維持及び整備に要する費用として、この度の事業費は長門市長門湯本温泉み

らい振興基金から拠出されるべきものと考えているが見解を尋ねる。

**答** 長門湯本温泉まち株式会社への2830万円の補助金をはじめ、10年後の灯具等の大規模修繕を見越した中で、毎年の積立金を逆算し、算定している。今回のような事故や災害で灯具の故障が起こった場合は一般財源で修繕するしかないと考えているが、条例上の基金の使途として閉ざされているわけではないことから、長門湯本温泉みらい振興評価委員会ですっかり審議してもらいたいと考えている。



## 6月定例会議決結果

議案番号	件名	結果
1	令和5年度長門市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
2	令和5年度長門市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
3	令和5年度長門市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
4	長門市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
5	長門市地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
6	長門市地域福祉センター条例の一部を改正する条例	原案可決
7	長門市児童デイ・ケアセンター条例の一部を改正する条例	原案可決
8	長門市火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決
9	財産の取得について(災害対応特殊救急自動車)	原案可決
10	財産の取得について(小型動力ポンプ付積載車)	原案可決

議案番号	件名	結果
11 ～ 29	長門市農業委員会委員の任命について	同意
30	令和5年度長門市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
意見書案 第1号	水道事業の財政支援の強化等を求める意見書	原案可決
陳情 第1号	油谷支所・複合施設の事務局用部屋の入居に関する発言内容について	採択
決議案 第1号	油谷支所・複合施設の事務局用部屋の入居に関する発言内容について	原案可決
報告1	令和4年度長門市一般会計予算に係る繰越明許費繰越計算書の報告について	—
報告2	令和4年度長門市水道事業会計予算に係る建設改良費繰越計算書の報告について	—
報告3	令和4年度長門市下水道事業会計予算に係る建設改良費繰越計算書の報告について	—
報告4	公益財団法人長門市文化振興財団の経営状況について	—
報告5	一般社団法人アグリながとの経営状況について	—

# 議員提出の2議案を可決・陳情1件を採択

## 決議

発言及び行動については、注意を払い誠実にその職務を行う旨の決議を可決

「油谷支所・複合施設の事務局用部屋の入居に関する発言内容について」の陳情書は、新別名地区まちづくり協議会ひとまる Machikyo から提出されました。この陳情書は、長門時事（6月16日付）に掲載された6月9日開催の議員全員協議会における議員の一部発言について「当会に対しての誤解、錯誤がある」として、「当会が複合施設への入居を強く希望した事実はなく、これほど議員が入居を反対するなか、また裏工作の疑いをかけられてまで、入居するほどの度胸はなく、改めて複合施設への入居は遠慮させてもらう」との内容です。

議会は、油谷地区発展の要として、新別名地区まちづくり協議会ひとまる Machikyo の活躍を切に願う立場から、陳情書の取り扱いについて真摯に議論を重ね、陳情を本会議に上程し、所管の委員会に付託、審査の結果、陳情を全会一致で採択しました。

議会は陳情を採択したことから「議員は、住民の負託を受け、誠実にその職務を行わなければならない。議員はあらためてこのことを十分認識し、議案の審査等、議会の活動全般における発言及び行動については、注意を払い誠実にその職務を行うことを確認した。今後ともより一層の研鑽に努める」との決議を全会一致で可決しました。

### 陳情とは

市政に対し、要望や意見などを議会に提出することです。

### 決議とは

政治的効果の期待や議会の意思を対外的に表明する議決のことです。

## 意見書

### 水道事業の財政支援の強化等を求める

本市は本来収支採算を目的としない旧簡易水道を多く有することから、施設統合及び会計統合を行っても施設規模及び管路延長は何ら変わることなく、経営・財政基盤が脆弱な状況が続いています。

水道事業の施設の維持、更新事業を強化し、将来にわたり持続可能なものとするため、「水道事業の財政支援の強化等を求める意見書」を衆参両院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣に提出し、下記の事項について対策を講じるよう強く要望しました。



- 【1】老朽化対策や耐震化対策をはじめ、国民の生命を守るライフラインである水道施設の更新・維持・管理に要する経費への財政支援を強化すること。
- 【2】水道施設の更新事業等の実施に係る現行の補助制度の採択基準が実態と乖離していることから、補助要件の緩和を行うこと。さらに、簡易水道事業と上水道事業を統合した市町村において、財政支援を行うこと。

### 意見書とは

地方自治法の規定に基づき、市の公益に関することについて、国や県などの関係機関に対して提出する議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。

# 新たに 特別委員会を設置

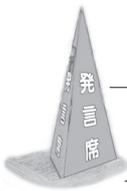
## 議員定数等調査 特別委員会

特別委員会とは、必要に応じて特定の事項を審査・調査するために、議会の議決で設置される委員会です。議員定数等調査特別委員会では、長門市議会議員の定数及び報酬並びに政務活動費等について、長門市議会のあるべき姿を調査研究し提案を行っていきます。特別委員会の任期は調査終了までとなります。

- 委員長 重村 法弘
- 副委員長 早川 文乃
- 林 哲也 吉津 弘之
- 中平 裕二 綾城 美佳
- 田村大治郎



▲6月26日に開催された特別委員会の風景



# 一般質問



NAKAHIRA YUJI

中平 裕二  
議員

## 市長のこれまでの 市政運営の総括と今後は

**問** これまでの様々な施策をどのように評価しているのか。

**答** 「市民のいのちと生活を守る」ことを基本理念とし、本市の喫緊の課題である人口減少と加速する超少子・高齢化に立ち向かうため、様々な角度から本市の現状と課題を整理し、優先順位をつけて課題解決に向かうという姿勢のもと、知恵を絞り果敢に挑戦する強い思いを持って市政を運営してきた。想定した効果が十分現れている施策がある一方で、新たな課題等により、いまだ十分な効果が現れていない施策もある。

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響により疲弊した市内経済の支援策についてどのように評価しているのか。

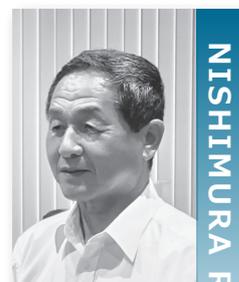
**答** 経済活性化対策では、完済まで無利子・無保証の市内企業

向け運転資金枠の提供や5億円近い市民向け応援券・優待券の発行、泊まつ得チケットの配布や水道料金の負担軽減など、国・県の制度の隙間を埋めるべく、時機を逸することなく、市独自の各種支援策を講じることができた。

**問** 本年11月に実施予定の任期満了に伴う市長選挙に出馬される意欲があるのか。

**答** 新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に緩和され本市も遅れることなく、重点施策を具現化する様々な事業を展開している。これらの施策の評価をいただく中で、しかるべきタイミングにおいて、私の態度を明らかにしたいと考えている。

▼令和5年度施政方針及び提案説明をする市長



NISHIMURA RYOICHI

西村 良一  
議員

## 市立図書館の利便性向上は

**問** 市立図書館の利用時間の拡大はできないのか。

**答** 過去に開館時間を30分早めて試行した結果、職員増員の必要性とニーズを照らし合わせて変更を見送った。閉館時間も延長を試行したが、利用者数が少なく、利用者の固定化が見られたため延長を見送った。今後、あるべき利用時間についてニーズやコスト等を総合的に勘案し検討していく。

**問** 定休日以外の休館日が多いと思うが、見直しはできないか。

**答** 休館日のうち資料整理期間のため必要不可欠な期間である。システム化等により期間の短縮に努めており、現状で理解していただきたい。

**問** 満車の際は遠くの駐車場の案内があるが、図書館前の芝生

広場を駐車場に整備できないか。

**答** 通常開館の際は、駐車スペースは充足している。また、芝生広場は図書館まつり等の野外交流入入ペースとして活用するため、現状で理解していただきたい。

## 若者の流出と定住問題は

**問** 若者が地元で就職し、住み続けることができる環境づくりの取り組みを問う。

**答** 子育て支援など多種多様な施策を充実させるとともに、企業誘致を専門とする組織を新設し、若者の市外流出の抑制と定住につなげ、住みたい、住み続けたいまちとなるよう取り組んでいく。

▼長門市立図書館





誰ひとり取り残さない社会へ

**問** ろつ者やその支援者は市役所内に手話通訳者の設置を求めている。手話通訳の資格を持った方を採用し、職員として配置することで、来庁した聴覚障害者への対応だけではなく、手話やあらゆる障害に対するコミュニケーション等に関する施策全般の推進が可能となると考えるが見解を尋ねる。

**答** 手話通訳者の必要性は感じている。専門的な人材であるため、市役所に入ってきてくれるか分からないが、検討していきたい。

**問** 審議会とは、地方自治法に基づき首長の要請を受けて審議や議論をする機関であり、審議された結論が政策等の策定に大きな影響をもつ。長門市の各審議会等において障害のある当事者を委員として登用する考えはないか。

**答** 市では、多くの協議会で障害の有無に関わらず各担当課で

委員を選定しているが、当事者の登用については様々な議論があることから研究をしていきたい。

観光施策推進の体制は

**問** 本市の観光振興において要となるのが観光政策課である。市長が就任してからの4年間で課長が毎年変わっているが、本当に長門市の観光振興につながる政策立案ができるのか。どのような考えで人事をしているのか尋ねる。

**答** 組織全体のバランスから職員配置を検討する中で、どうしても管理職を異動させないといけないケースが出てくる。今回いただいた意見を意識しつつ、今後適切な人員配置に努めていきたい。

▼観光政策課の職場風景



障害福祉政策の取り組みは

**問** 障害福祉計画及び障害児福祉計画における現状の取り組みと評価について問う。

**答** 自立支援協議会の専門部会に置いて、主に3つの取り組みに重きを置いている。「相談支援体制の充実・強化」「障害のある人の生活基盤である障害福祉サービスの質の向上」「障害児支援の提供体制の整備」である。取り組みの評価として、障害者個人の特性やニーズに応じた支援につながったことや、行政だけではできない支援が行われたと評価している。

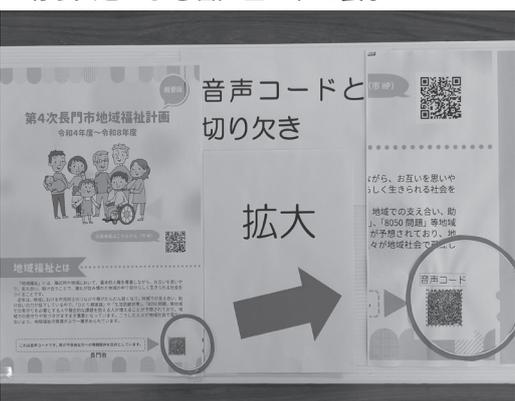
**問** 視覚障害者の方へ配付される公的な通知は、自身で内容を確認できないため、ほかの人に読んでもらっている状況となっている。今後は、視覚障害者の方への配慮やプライバシー保護の観点から、文字情報を音声にする音声コードシステムの導入を検討してはどうか。

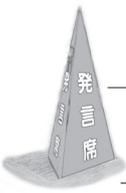
**答** 切り欠きの作成や情報量の問題から公文書の内容全ての音声コード対応は困難だが、聴覚障害者の方の声を参考に、音声コード導入を試行検証していく。

**問** 選挙において投票率の低下が懸念されている。障害者や高齢者の方々がスムーズに投票することができるよう、投票支援カードやコミュニケーションボードを投票行動支援として導入してはどうか。

**答** こういった取り組みは、全国他市で実施されており、広がっていると伺っている。選挙管理委員会において、事例等を調査・研究の上、導入について検討していきたいと考えている。

▼切り欠きによる音声コードの表示





# 一般質問

## 問

部活動を地域移行することで学校としてどのようなメリツ

**答** 令和7年度からの地域移行開始を目標に、市内全域において、種目選択肢を確保し、持続的に活動できる体制の構築を図ることとしている。現在は、中学校部活動地域移行の方向性案の市民への周知を図るとともに、児童等に対するアンケート調査の結果の分析に基づき、より具体的な内容の検討を行っている。

▼地域移行が求められる今後の部活動



**問** スポーツ庁と文化庁が策定した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」において、2023年度から2025年度の3年間を「改革推進期間」と位置づけ、部活動改革を進めていくとしているが、本市の中学校部活動の地域移行の状況は現在どのようになっているのか。

**答** 準備のため早い時期に具体的な内容を示す必要があると考えている。学校教育現場にとっても、教員の負担を軽減することは教育改革という観点から重要なことであり、しっかりと取り組んでいきたい。

## 問

スポーツ施設である体育館を見守り人員の配置なども含め、検討を続けている。

## 答

令和4年度に開催された市長と協働のまちづくりミーティングで、保護者から屋内の遊び場を求める声が上がっている。その際、市長は「閉校した学校の体育館が活用できるとよい」という趣旨の回答をしているが、このことについて教育委員会の見解を問う。

▼市が管理するスポーツ施設



部活動改革  
地域移行へ向けて課題解決を



YOSHIZU HIROYUKI

吉津 弘之  
議員

**問** 部活動改革を今後どのように進めていくのか。

スポーツ施設等の  
利便性向上を



HISANAGA SHINYA

ひさなが 信也  
議員

**問** ミーティングにおいて、屋内の遊び場や雨天時の遊び場、施設に対する利用のしやすさなどの意見が上がってから1年以上経っている。しかし、この1年間で議論がしっかりとなされてきたとは思えない。これまでのスピード感について、そして今後の方向性について市長の見解を尋ねる。

**答** 要望は各所で聞いている。協議はしているが、雨天時の遊び場として転用できる市有施設が中心エリアにないのが現状である。今後、屋内の遊び場として転用が可能な施設が生じた際は公民問わず、積極的に活用することを考えたい。ミーティングから時間も経っており、速やかに検討して対応していきたい。

# 一般質問



TAMURA DAIJIRO  
田村大治郎  
議員

**避難所の受入れ体制と  
情報発信を確認する**

**問** 多様な避難者を受け入れる施設の整備と運営はどうか。

**答** バリアフリー対応について、既存の施設では全てが整備されている状況ではないが、指定避難所となる15カ所は計画的に対応していく。また運営面は個別の状況に応じ他の避難所への移動案内や、協定を締結している福祉施設を福祉避難所として利用することを検討する。さらに、災害等物資供給協定を締結している民間業者に物資供給を要請することに加え、簡易トイレ等の災害備蓄品を活用することにより、要配慮者や女性等に配慮した対応に努めていく。

**問** WEB版ハザードマップに避難所のバリアフリー対応状況等を表示し情報の一元化は可能か。

**答** バリアフリー対応状況等を表示することは可能であること

から、今後追加を行う。避難所等の追加があった場合や災害時の情報等についても常に最新の情報に更新し、公開していく。

**いじめ防止は組織的かつ  
迅速に、危機意識を高く**

**問** 安全安心な教育環境が持続されることを願い、いじめ防止体制のさらなる向上・構築についての見解を尋ねる。

**答** 学校現場において校長のリーダーシップのもと、組織力を向上させることが求められている。組織マネジメントの推進を支援することで、どんなに小さいなことでも全教職員で共有し、迅速に対応できる体制の構築を目指す。

▼大雨により土砂で覆われた市道(7月1日俵山)



HAYASHI TETSUYA  
林 哲也  
議員

**学芸分野は市の直営にすべき**

**問** 香月泰男美術館や村田清風記念館など文化施設4館の企画展等の自主事業の実施については、専門的知識を有する学芸員の存在が欠かせない。県立美術館の指定管理者制度の運用にあるように、施設の維持管理業務のみを指定管理とし、学芸分野は市直営の形態を取るべきではないか。

**答** 文化施設については、限られる財源や規模感に鑑み、開設からの人員配置や展示物の所有権がどこにあるかなどの諸条件を勘案し、学芸員の配置を仕様書にも示した上で、長門市文化振興財団を指定管理者としている。

指定管理により文化施設の一体的な運営や利用者への安全で安心な施設環境と利用者目線のサービス提供に努めてきたところであり、現行で進めたいと考えている。今後ヒストリアながとの学芸員と財団の学芸員との連携を強化し、4館の自主事業に臨んでいきたい。

**洋上風力発電は実現できるのか**

**問** 向津具半島の川尻沖から約10kmの沖合に浮体式洋上風力70基を設置する長門市沖浮体式洋上風力発電プロジェクトの取り組み状況はどうなっているのか。

**答** 市は事業者を漁業関係者につなぎ、事業説明会が開かれている。現在のところ、市内の漁業関係者からは一定の同意を得ているものの、近隣市町の関係者の同意が得られていない状況である。

**問** このプロジェクトは実現の可能性が低いのではないか。

**答** 協議会が設立されていない現時点で判断はできない。

▼洋上風力発電所のイメージ





# 一般質問



EHARA KENJI

江原 健二  
議員

## 買物弱者への対策は

**問** 買物弱者対策はどのように推進していくのか。

**答** 市民の移動手段を容易にし、買物に行けるようにすること、買物機能を市民に近づけることとの両面から対策が必要と考え、市内全域にデマンド交通を導入するとともに、事業者への補助金や連携により、移動スーパー「とくし丸」と「おまかせくん」の運行を開始した。今後とも事業者等への聞き取りを行い、両施策の改善を図り、対策を推進していく。

**問** 移動スーパー「とくし丸」の実績や課題はどのように評価しているのか。

**答** 計画を上回る売上実績があったことから買物弱者対策に一定の成果があったが、引き続き事業者と協議を重ね、市民ニーズに対応する、より充実した巡回内容にする必要があると考えている。

▼買物支援の移動販売風景

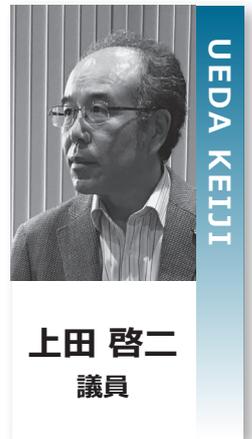


**問** 「おまかせくん」の運行はどのように受け止めているか。

**答** 運行エリアが市内全域を満遍なく網羅しており、拠点販売方式であることから、巡回先での地域の利用者が顔を合わせ、コミュニケーションをとる機会にもなっている。市の買物弱者対策を支援するとともに、高齢者の社会的孤立を防ぐ一助になっている。

**問** 今後の推進に向けての市長の思いを尋ねる。

**答** 市民ニーズの把握に努め、事業者とともに地域の実情に合った移動販売やドローンを活用した物流サービスの導入など、様々な視点から対策を推進していく。



UEDA KEIJI

上田 啓二  
議員

## 「オーガニック・ビレッジ」宣言の将来像は

**問** 本年3月30日、中国地方で初めてとなる「オーガニック・ビレッジ」宣言をした。この宣言に至る経緯を尋ねる。

**答** 基幹産業である農業の振興・発展のために、「担い手の確保・育成」、「所得向上」等に向けて取り組んできたものの、取り巻く環境は厳しい。この状況に対応するため楽天農業(株)が展開する耕作放棄地の活用事業を取り入れるとともに、未来農業創造協議会の下部組織を新たに設置し、有機農業等推進計画を策定した。その機運の醸成と計画の具現化に拍車をかける起爆剤として宣言した。

**問** 有機農業等の推進にあたり、現状の課題をどう認識しているのか。

**答** いくつか課題がある中で特に水稲については、水利の調整

が非常に重要になるため、慣行栽培と有機栽培とのエリア分けは必須となる。今後は各地域における農業のあり方、農用地の基盤整備の取り組み方針等を盛り込んだ地域計画を策定していく。

**問** 有機JAS認証取得に係る支援については、県内に認証する機関がなく、存在すれば有機農業の推進につながると考えるが、市の見解を問う。

**答** 国内だけでなく世界的な認証制度であり、長門市の有機農業等推進部会において農業者、JA、山口県、関係団体等が研究を始めている。今後、県または本市での認証機関設置の実現に向けた取り組みを牽引していきたい。

▼「オーガニック・ビレッジ宣言」をしたラポールゆやの会場風景



# 新

たな

議長 南野 信郎

副議長 岩藤 睦子

議会構成へ

## 第1回 臨時会

Next Stage

### 議会運営 委員会

- 委員長 林 哲也
- 副委員長 重村 法弘

吉津 弘之 綾城 美佳 田村大治郎  
ひさなが信也

議会の運営、議会の会議規則・委員会  
に関する条例、議長の諮問等に関する  
事項

### 予算決算 常任委員会

- 委員長 吉津 弘之
- 副委員長 上田 啓二

委員は議長を除く議員全員

一般会計の予算及び決算に関する事項



第1回臨時会を5月12日（金）に開きました。臨時会では執行部提出議案のほか、正副議長選挙をはじめ、現在の議員が選出されて2年が経過することから、任期満了による常任委員会（予算決算、総務産業、文教厚生、広報広聴）委員の選任、議会運営委員の選任、萩・長門清掃一部事務組合議会議員の選挙などの議会人事を行い、新たな議会構成となりました。

議長は指名推選により南野信郎議員、副議長は投票の結果、岩藤睦子議員11票、有田茂議員7票となり、岩藤議員を選びました。また、議会選出監査委員に重廣正美議員が選任され、同意しました。

## 市民に開かれた議会、市民とともに歩む議会を目指す

### 総務産業 常任委員会

- 委員長 田村大治郎
- 副委員長 松岡 秀樹

重廣 正美 重村 法弘 吉津 弘之  
有田 茂 早川 文乃 西村 良一  
田中 千秋

企画総務部、経済観光部、建設部、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員及び農業委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項（予算決算委員会の所管に属する事項を除く）

### 文教厚生 常任委員会

- 委員長 綾城 美佳
- 副委員長 米弥 又由

南野 信郎 林 哲也 岩藤 睦子  
中平 裕二 上田 啓二 江原 健二  
ひさなが信也

市民生活部、健康福祉部、教育委員会及び上下水道局の所管に属する事項（予算決算委員会の所管に属する事項を除く）

※南野議長は議事の公平性の観点から6月1日付で委員を辞任

### 広報広聴 常任委員会

- 委員長 ひさなが信也
- 副委員長 田中 千秋

林 哲也 綾城 美佳 田村大治郎  
米弥 又由

議会だより、議会報告会その他広報広聴に関する事項

議選監査委員 重廣 正美

### 第1回臨時会議決結果

議案番号	件名	結果
1	令和5年度長門市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
2	専決処分の承認について（長門市税条例の一部を改正する条例）	承認
3	専決処分の承認について（令和5年度長門市一般会計補正予算（専決第1号））	承認

議案番号	件名	結果
4	専決処分の承認について（和解及び損害賠償の額を定めることについて）	承認
5	長門市監査委員の選任について	同意
6	長門市固定資産評価員の選任について	同意
報告1	専決処分の報告について（自動車事故に係る損害賠償の額を定めることについて）	—

## ☀ 表紙の説明



文教厚生委員会は7月11日(火)、所管事務調査として北九州市小倉南区平尾台の学校法人きのくに子どもの村学園「北九州子どもの村小・中学校」を視察しました。同校はテストや宿題、学年の壁がなく、「自己決定・個性化・体験学習」の3つを重視しており、子どもの個性を尊重した公教育のあり方について、高木秀実中学校長と意見交換を行いました。

## ☀ ご案内



←長門市議会  
フェイスブック  
QRコード



←長門市議会  
Instagram  
QRコード

## ☀ まちの声



白濱 桂子 さん(31歳)  
江良地区在住 (主婦)

## 長門市議会に関してインタビューを行いました

**Q**議会だよりは読んでいますか。

**A**自宅に届いたら真っ先に読みます。

**Q**議員定数や議員報酬についてどう思われますか。

**A**定数について、市民が直接顔を見て話ができる人数が適切だと思います。議員さんがどんな方なのか、どんな考えをお持ちなのか分かるくらい、身近に感じる議員さんが増えることを望みます。報酬について、各議員さんがどれだけ活動されているのかももっと分かれば、現状維持で良いと思います。ただ、議員の皆さんは市民の金銭感覚を分かる人であってほしいとも思います。

**Q**市民の声が市政に活かされていると思いますか。

**A**どれだけの市民がどんな意見や要望を市政に言っているか知らないので、市政に実際に反映されてるかどうか分かりかねます。「市民の声」を公表した方が良いと思います。

**Q**議会や議員に望むことがあればお聞かせください。

**A**議会の傍聴がしやすい環境を望みます。直接議員さんの声を聞いたり、その場の雰囲気を感じたり。難しい内容でも、市民が色々なことを感じ、考える場所にしてもらいたいと思います。

## ☀ 編集後記

▶7月の豪雨では多くの地域で甚大な被害が発生しました。被害を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げます▶5月に委員の改選があり、広報広聴委員会メンバーはこれまでの8名から6名となりました▶議会だよりの編集では、引き続き手に取って読みたくなるような親し

みやすい紙面となるよう、原稿から構成まで創意工夫を重ねながら取り組みます▶議会だよりの編集以外にもSNSでの積極的な情報発信や議会報告会等において、広報・広聴機能の充実に力を注ぎます。ご意見・ご要望がございましたら、ぜひお聞かせください。(ひさなが)

ながと市議会だより  
発行/山口県長門市議会  
編集/広報広聴常任委員会

委員長	ひさなが 信也
副委員長	田中 千秋
委員	林 哲也
	綾城 美佳
	田村 大治郎
	米 弥 又 由